

ベルギー

Kingdom of Belgium

	2012年	2013年	2014年
①人口：1,115万人（2014年）			
②面積：3万528km ²			
③1人当たりGDP：4万7,722米ドル （2014年）			
④実質GDP成長率（%）	0.1	0.3	1.1
⑤消費者物価上昇率（%）	2.8	1.1	0.3
⑥失業率（%）	7.6	8.4	8.5
⑦貿易収支（100万ユーロ）	△10,162	△7,272	△2,651
⑧経常収支（100万ユーロ）	△2,823	△906	5,743
⑨外貨準備高（100万米ドル）	18,600	18,139	16,626
⑩対外債務残高（グロス） （100万ユーロ）	1,056,712	972,572	1,054,921
⑪為替レート（1米ドルにつき、 ユーロ、期中平均）	0.7783	0.7532	0.7537

〔注〕⑦：国際収支ベース（財のみ）
〔出所〕①②：ベルギー連邦政府、③⑨⑩：IMF、④～⑧⑪：ベルギー国立銀行

2014年のベルギー経済は、内需が回復し、国内総固定資本形成が伸びたことで、実質GDP成長率が1.1%とプラス成長を遂げた。貿易は、輸出が拡大した一方で輸入が減少した結果、赤字が減少した。対内直接投資は引き揚げ超過となった。対外直接投資は全体的には縮小したものの、ユーロ圏を中心とした欧州向けが拡大した。対日貿易は、輸出が拡大、輸入が大幅に減少した結果、赤字が半減した。日本からの直接投資は、製造業を中心に増加した。

■内需が回復、総固定資本形成もプラス成長

2014年のベルギーの実質GDP成長率は、1.1%となった。2013年第2四半期以降、内需が徐々に回復し、2014年に入り国内総固定資本形成も伸びたことによる。産業別では、建設業が3.2%増、製造業が1.9%増と前年のマイナス成長から回復し、農林水産業も1.8%増、情報通信は1.2%増と堅調に伸びた。

需要項目別にみると、政府最終消費支出が前年の1.1%増から1.0%増の微減だが、民間最終消費支出は前年の0.3%増から0.9%増に伸びた。国内総固定資本形成は、2.1%減から5.1%増となり、成長を牽引した。財貨・サービスは輸出が3.7%増、輸入が3.6%増となった。

消費者物価上昇率は2011年7月の前年同月比4.0%をピークに低下傾向が続き、2014年11月から2015年3月にかけては5カ月連続でマイナスを記録した。2014年（通年）では0.3%増となった。2014年の失業率は8.5%と、前年の8.4%からほぼ横ばいだった。

表1 ベルギーの需要項目別実質GDP成長率

（単位：%）

	2013年	2014年	2014年			
			Q1	Q2	Q3	Q4
実質GDP成長率	0.3	1.1	1.3	1.0	0.9	1.1
民間最終消費支出	0.3	0.9	0.5	0.5	1.0	1.7
政府最終消費支出	1.1	1.0	0.7	1.0	1.0	1.1
国内総固定資本形成	△2.1	5.1	2.5	3.6	9.9	4.5
財貨・サービスの輸出	2.9	3.7	4.4	4.8	3.9	1.8
財貨・サービスの輸入	1.8	3.6	2.7	3.3	5.9	2.6

〔注〕四半期の伸び率は前年同期比。

〔出所〕ベルギー国立銀行・統計局（Belgostat）オンラインデータベース

■輸出が拡大し、貿易赤字は縮小

2014年の貿易は、輸出が前年比1.2%増の2,462億5,300万ユーロ、輸入は0.1%減の2,517億4,300万ユーロとなった。貿易収支は7年連続で赤字を記録したが、赤字幅は54億9,000万ユーロとなり、前年より36.4%縮小した。

輸出を品目別にみると、最大輸出品目の化学工業製品（構成比18.9%）が前年比8.9%増と伸びた。中でも、医薬品や有機化学品がそれぞれ前年比18.7%増、4.3%増と前年に引き続き増加した。また、機械・電気機器（10.3%）と調製食料品、飲料・アルコール、たばこ（5.5%）が、それぞれ2.1%増、2.5%増となった。貴石・貴金属材料（7.0%）も4.5%増となり、産業団体アントワープ世界ダイヤモンドセンターの発表では、主力製品のダイヤモンドの輸出額が157億ドルとなった。他方、軽油などの鉱物性生産品（12.1%）は前年比12.2%減、輸送用機器（10.9%）も横ばいで、輸出の伸びを鈍化させた。金属および金属加工品（8.0%）は、主力製品の鉄鋼は1.9%増だが、銅・関連品が36.8%減で、3.1%減と前年に引き続き縮小した。

輸出を国・地域別にみると、EU28向けは1.4%増となり、全体に占める対EU28の割合は前年より0.1ポイント増の69.4%となった。最大輸出相手国のフランス（構成比16.0%）向けは2.0%増、特に医薬品が50.8%増と大きく伸びた。また、ドイツ（16.0%）向けは、トラクターや貨物自動車が前年比30.4%増、10.1%増と好調で、自動車・同部品全体では1.9%増

表2 ベルギーの主要品目別輸出入

(単位：100万ユーロ、%)

	輸出				輸入			
	2013年		2014年		2013年		2014年	
	金額	金額	構成比	伸び率	金額	金額	構成比	伸び率
化学工業製品	42,744	46,539	18.9	8.9	36,559	38,439	15.3	5.1
鉱物性生産品	33,988	29,852	12.1	△12.2	54,451	48,743	19.4	△10.5
輸送用機器	26,746	26,742	10.9	0.0	28,051	27,307	10.8	△2.7
機械・電気機器	24,909	25,428	10.3	2.1	31,206	32,731	13.0	4.9
プラスチック・ゴム製品	21,345	20,537	8.3	△3.8	12,557	13,116	5.2	4.5
金属および金属加工品	20,215	19,591	8.0	△3.1	17,685	18,067	7.2	2.2
貴石・貴金属材料	16,531	17,269	7.0	4.5	16,077	16,073	6.4	0.0
調製食料品、飲料・アルコール、たばこ	13,334	13,666	5.5	2.5	9,933	10,500	4.2	5.7
光学・精密機器	5,851	7,295	3.0	24.7	6,599	7,019	2.8	6.4
動物・動物性生産品	6,647	6,735	2.7	1.3	5,882	6,075	2.4	3.3
繊維製品	6,327	6,607	2.7	4.4	6,387	6,747	2.7	5.6
植物性生産品	5,758	6,063	2.5	5.3	7,924	7,734	3.1	△2.4
美術品・収集品および骨董	4,690	5,855	2.4	24.8	2,381	2,613	1.0	9.7
パルプ加工製品	3,619	3,602	1.5	△0.5	4,056	3,998	1.6	△1.4
雑品	3,057	3,052	1.2	△0.2	4,292	4,375	1.7	1.9
合計（その他含む）	243,345	246,253	100.0	1.2	251,982	251,743	100.0	△0.1

[注] ①2014年は暫定値。②EU域外貿易は通関ベース（輸出はFOB、輸入はCIF）、EU域内貿易は各企業のインボイス報告などに基づく。

[出所] 表3ともベルギー国立銀行・統計局（Belgostat）オンラインデータベース

表3 ベルギーの主要国・地域別輸出入

(単位：100万ユーロ、%)

	輸出				輸入			
	2013年		2014年		2013年		2014年	
	金額	金額	構成比	伸び率	金額	金額	構成比	伸び率
EU28	168,673	170,987	69.4	1.4	181,914	180,258	71.6	△0.9
ユーロ圏	136,960	138,151	56.1	0.4	154,082	152,716	60.7	△0.9
フランス	38,670	39,458	16.0	2.0	29,917	29,303	11.6	△2.1
ドイツ	38,688	39,339	16.0	1.7	37,017	36,921	14.7	△0.3
オランダ	30,746	29,426	12.0	△4.3	62,564	61,005	24.2	△2.5
イタリア	8,877	9,040	3.7	1.8	7,917	8,708	3.5	10.0
スペイン	5,840	6,119	2.5	4.8	5,447	5,120	2.0	△6.0
ルクセンブルク	5,523	5,074	2.1	△8.1	2,105	2,310	0.9	9.8
非ユーロ圏	31,713	33,426	13.6	5.4	28,110	27,837	11.1	△1.0
英国	16,881	17,595	7.1	4.2	13,780	12,750	5.1	△7.5
ポーランド	4,340	4,730	1.9	9.0	2,872	3,110	1.2	8.3
スウェーデン	3,488	3,544	1.4	1.6	5,076	4,773	1.9	△6.0
チェコ	2,017	2,162	0.9	7.2	2,735	2,840	1.1	3.9
デンマーク	1,735	1,772	0.7	2.1	937	1,197	0.5	27.8
スイス	4,064	3,954	1.6	△2.7	2,886	3,206	1.3	11.1
ロシア	3,340	2,690	1.1	△19.5	7,829	8,339	3.3	6.5
アジア・大洋州	23,006	24,090	9.8	4.7	22,233	22,144	8.8	△0.4
インド	7,569	8,190	3.3	8.2	2,957	3,023	1.2	2.2
中国	5,517	5,509	2.2	△0.1	6,242	6,719	2.7	7.6
ASEAN	2,918	2,919	1.2	0.0	3,759	4,823	1.9	28.3
香港	2,225	2,334	0.9	4.9	1,063	985	0.4	△7.3
日本	1,962	2,080	0.8	6.0	5,265	3,557	1.4	△32.4
韓国	1,016	1,251	0.5	23.2	1,381	1,519	0.6	10.0
オーストラリア	1,118	1,164	0.5	4.1	839	723	0.3	△13.8
トルコ	3,308	3,303	1.3	△0.2	1,771	1,888	0.8	6.6
湾岸協力会議(GCC)諸国	4,136	4,434	1.8	7.2	4,524	4,128	1.6	△8.8
アラブ首長国連邦(UAE)	2,688	3,003	1.2	11.7	2,284	2,247	0.9	△1.6
北米 (NAFTA)	13,397	14,427	5.9	7.7	14,120	14,515	5.8	2.8
米国	10,894	12,284	5.0	12.8	11,613	11,399	4.5	△1.8
ブラジル	2,143	2,276	0.9	6.2	1,151	1,031	0.4	△10.5
南アフリカ共和国	893	907	0.4	1.6	1,216	1,335	0.5	9.7
合計（その他含む）	243,345	246,253	100.0	1.2	251,982	251,743	100.0	△0.1

[注] ①2014年は暫定値。②EU域外貿易は通関ベース（輸出はFOB、輸入はCIF）、EU域内貿易は各企業のインボイス報告などに基づく。③アジア・大洋州はASEAN+6（日本、中国、韓国、オーストラリア、ニュージーランド、インド）に香港、マカオおよび台湾を加えた合計値。

となり、全体としては1.7%増と拡大した。

EU域外最大の輸出相手国の米国（構成比5.0%）向けは、12.8%増と好調だった。重油など鉱物性生産品が22.9%増、医薬品が20.5%増と、それぞれ大幅に増加した。

アジア最大の輸出先インド（構成比3.3%）向けも、ダイヤモンドなど貴石・貴金属材料が8.0%増と好調で、全体で8.2%増となった。中国(2.2%)向けは、医薬品が52.4%増と大幅に増え、ダイヤモンドなど貴石・貴金属材料も4.7%増だが、プラスチック・関連品が10.1%減と落ち込み、全体では0.1%減となった。

■輸入は前年と同様、横ばいで推移

輸入を品目別にみると、最大輸入品目の鉱物性生産品（構成比19.4%）は、原油の国際価格が下落したことを受け、10.5%減に減少した。輸送用機器（10.8%）も、自動車・関連品が3.6%減となり、2.7%減少した。

他方、化学工業製品（構成比15.3%）は5.1%増。医薬品が12.0%増と、前年に引き続き伸びを牽引した形だ。機械・電気機器（13.0%）とプラスチック・ゴム製品（5.2%）も、それぞれ4.9%増、4.5%増となった。

輸入を国・地域別にみると、全体の71.6%を占めるEU28からが0.9%の微減だった。オランダ（構成比24.2%）が前年に引き続き最大輸入相手国となったものの、鉱物性燃料が6.7%減となり、全体でも2.5%減少した。オランダに次ぐ輸入相手国ドイツ（14.7%）は、自動車・関連品が3.4%増となった一方で、有機化学品が10.8%減となり、全体としては0.3%の微減となった。フランス（11.6%）からは、主力の自動車・関連品と医薬品がそれぞれ4.0%減、9.0%減となり、全体では2.1%減となった。

EU域外では、前年と同様に米国（構成比4.5%）が最大輸入相手国となり、ロシア（3.3%）、中国（2.7%）が続いた。米国からは、原子炉・ボイラーおよび機械類と医薬品がそれぞれ13.3%増、15.4%増となったものの、鉱物性燃料が50.2%減と半減し、全体では1.8%減少した。ロシアからは、鉱物性燃料は1.9%増だったが、貴石・貴金属材料や鉄・鉄鋼がそれぞれ10.5%増、12.5%増となり、全体では6.5%増となった。中国からは、原子炉・ボイラーおよび機械類が29.3%増、衣類・同付属品が21.7%増と大幅に拡大し、7.6%増となった。

■対内直接投資は引き揚げ超過

ベルギー国立銀行（NBB）によると、2014年の対内直接投資（国際収支ベース、ネット、フロー）は45億6,100万ユーロの引き揚げ超過となった。

地域別にみると、欧州で112億3,800万ユーロ、アフリカからも7億7,400万ユーロの引き揚げ超過となった。一方、米州から67億6,300万ユーロ、アジアからは11億4,900万ユーロの実績があった。

投資案件をみると、ドル高を背景に米国からの投資が相次いだ。石油会社エクソンモービル傘下のエッソ・ベルギーは、アントワープにある石油精製所への10億ドルの追加投資を発表した。欧州域内での超低硫黄ディーゼル燃料の供給を充実させるのが目的だ。化学会社のプラットフォーム・スペシャルティ・プロダクツは、農業事業拡大のため農業化学メーカーであるアグリファアを買収。航空分野では、エスターラインが医療用ディスプレイを中心とするテクノロジー企業バルコの軍需・航空宇宙産業と研修部門を1億5,000万ユーロで買収、ディスプレイ領域でのシェア拡大を目指す。

そのほか、中国の安邦保険がデルタ・ロイド銀行のベルギー事業の買収で、欧州の顧客のほか、欧州の中国系顧客へのサービス向上も図る。また、アイルランドの医薬品メーカー、ペリゴ・カンパニーは、シェア拡大を目指し市販薬を多く有するオメガ・ファーマ・インベストを買収した。

表4 ベルギーの国・地域別対内・対外直接投資
＜国際収支ベース、ネット、フロー＞

（単位：100万ユーロ、%）

	対内直接投資		対外直接投資	
	2013年 金額	2014年 金額	2013年 金額	2014年 金額
欧州	△7,640	△11,238	441	10,979
EU28	△2,666	△13,365	399	10,685
ユーロ圏	1,999	△18,458	△345	17,849
ドイツ	△4,668	△1,152	183	2,094
スペイン	3,057	△998	△62	353
フィンランド	1,247	△1,763	503	△34
フランス	11,522	△5,752	△8,798	884
イタリア	△363	1,884	△1,183	1,254
ルクセンブルク	△34,088	3,969	5,419	8,232
オランダ	17,520	△15,589	2,548	4,923
英国	△8,716	4,217	△1,674	△5,163
スウェーデン	5,259	130	2,077	△2,057
EU28以外	△4,974	2,127	42	294
ノルウェー	△4,298	△3,411	△68	330
スイス	△211	5,134	88	△267
アジア	△125	1,149	1,308	△851
日本	△456	368	111	372
中国	△436	△767	△561	△530
香港	429	573	590	△745
米州	20,011	6,763	11,372	△4,742
米国	22,779	8,075	11,135	△4,510
ブラジル	△1,326	△1,388	125	△2
アフリカ	△191	△774	155	△36
オセアニア	5,568	△460	235	255
合計（その他含む）	17,621	△4,561	13,512	5,607

〔出所〕ベルギー国立銀行・統計局（Belgostat）

表5 ベルギーの対内主要直接投資案件（2014年～2015年3月）

業種	被買収企業（事業）		買収企業		時期	投資額	概要
	企業名	企業名	国籍				
医薬品	オメガ・ファーマ・インベスト	ペリゴ・カンパニー	アイルランド		2015年3月	38億ユーロ	アイルランド企業が医薬品メーカー、オメガ・ファーマ・インベストを買収。
石油	エッソ・ベルギー	エクソンモービル	米国		2014年7月	10億ドル	米国エクソンモービルの子会社が、アントワープにある石油精製所に追加投資。
金融・保険	デクシア・アセット・マネジメント	ニューヨーク・ライフ・インベストメンツ	米国		2014年2月	3億8,000万ユーロ	米国企業ニューヨーク・ライフ保険の子会社であるニューヨーク・ライフ・インベストメンツがデクシアの資産管理部門デクシア・アセット・マネジメントを買収。
情報通信	クリアツーペイ	FIS	米国		2014年10月	3億7,500万ユーロ	米国の電子決済サービス企業が、同業のクリアツーペイを買収。
化学	アグリファア	プラットフォーム・スペシャルティ・プロダクツ	米国		2014年10月	3億ユーロ	米国企業が農業化学メーカーを買収。
保険	デルタ・ロイド	安邦保険	中国		2014年12月	2億1,900万ユーロ	中国の保険会社が、オランダ金融会社デルタ・ロイドのベルギー事業を買収。
航空	バルコ	エスターライン	米国		2015年2月	1億5,000万ユーロ	米国の航空防衛メーカーが、医療用ディスプレイを中心とするテクノロジー企業の軍需・航空宇宙産業と研修部門を買収。

〔出所〕各社発表および報道などから作成

表6 ベルギーの対日主要品目別輸出入<通関ベース>

(単位：100万ユーロ、%)

	輸出 (FOB)				輸入 (CIF)			
	2013年		2014年		2013年		2014年	
	金額	金額	構成比	伸び率	金額	金額	構成比	伸び率
化学工業製品	604	714	34.3	18.2	474	459	12.9	△3.1
有機化学品	137	143	6.9	4.2	226	222	6.2	△1.8
医薬品	365	450	21.6	23.1	96	110	3.1	14.3
輸送用機器	399	270	13.0	△32.3	3,081	1,168	32.8	△62.1
自動車	398	269	13.0	△32.3	3,080	1,167	32.8	△62.1
機械・電気機器	189	232	11.2	22.8	943	981	27.6	4.0
原子炉・ボイラーおよび機械類	126	127	6.1	0.8	688	611	17.2	△11.2
電気機械	63	105	5.1	67.0	255	370	10.4	44.8
光学・精密機器など	160	210	10.1	30.9	314	300	8.4	△4.6
光学・精密機器	156	206	9.9	32.0	313	298	8.4	△4.8
調製食料品、飲料・アルコール、たばこ	154	151	7.3	△1.9	2	4	0.1	165.1
ココア・同調製品	50	52	2.5	4.3	0	-	-	-
各種調製食料品	36	29	1.4	△20.3	1	1	0.0	27.9
飲料、アルコールおよび食酢	29	24	1.1	△16.6	0	2	0.1	734.1
鉱物性生産品	56	146	7.0	160.4	9	9	0.2	0.1
プラスチック・ゴム製品	100	74	3.6	△25.6	274	475	13.4	73.4
プラスチック製品	81	62	3.0	△23.5	152	173	4.9	13.8
ゴム製品	18	12	0.6	△34.9	122	302	8.5	147.4
金属および金属加工品	57	60	2.9	5.5	71	71	2.0	0.2
貴石・貴金属材料	87	50	2.4	△42.7	19	13	0.4	△34.8
繊維製品	56	48	2.3	△14.3	10	11	0.3	14.7
合計 (その他含む)	1,962	2,080	100	6.0	5,265	3,557	100.0	△32.4

[出所] ベルギー国立銀行・統計局 (Belgostat) オンラインデータベース

■対外直接投資は欧州が中心

NBBによると、2014年の対外直接投資は前年比58.5%減の56億700万ユーロとなった。地域別にみると、欧州向けは109億7,900万ユーロの投資があった一方で、米州向けが47億4,200万ユーロ、アジア向けが8億5,100万ユーロの引き揚げ超過となった。

農業・飲食品分野では、2008年にバドワイザーを有する米アンハイザー・ブッシュを買収し、世界最大のビールメーカーとなったアンハイザー・ブッシュ・インベブ (ABインベブ) が2014年4月、韓国のOBビールを58億ドルで買収。同社は2009年7月にOBビールを売却したが、アジア太平洋地域でのシェア拡大のため買い戻した。

化学分野では、ソルベイが2014年9月、米国企業シェブロン・フィリップス・ケミカルから2億2,000万ドルで特殊ポリマー製品の事業部門を買収。自動車部品の供給拡大を図る。他方、ユミコアは2014年6月にポーランドで4,000万ユーロ、2014年12月にはタイで2,000万ユーロでの触媒生産工場の新設を発表した。同社は2012年に日本触媒と合弁会社を設立。タイ工場新設は日本触媒を通じて、自動車用触媒を現地の日系自動車メーカーに供給するのが目的だ。また、2014年12月にイタリア関連会社トディニを100%子会社化 (金額非公表) した。

金属加工分野では、スチールワイヤーメーカーであるベカルトが2014年12月から2015年3月にかけて、イタリア企業ピレリが保有していたイタリア、ルーマニア、ブラジル、トルコおよび中国でのタイヤコード事業の全株を取得している。

■対日貿易赤字幅は半減

2014年の対日貿易は、輸出が前年比6.0%増の20億8,000万ユーロ、輸入が32.4%減の35億5,700万ユーロとなった。輸出の拡大と輸入の縮小が進んだことで、対日貿易赤字は前年比55.3%減の14億7,800万ユーロとなった。

日本への輸出を品目別にみると、化学工業製品 (構成比34.3%) のうち、特に医薬品が前年比

23.1%増と大きく伸びた一方、輸送用機器 (13.0%) の自動車が32.3%減と大きく減少した。機械・電気機器 (11.2%) は、22.8%増、光学・精密機器が32.0%増と大きく伸びた。

日本からの輸入を品目別にみると、最大輸入品目の自動車が前年比62.1%減と大幅に減少し、原子炉・ボイラーおよび機械類も11.2%減となった。一方で、電気機械は44.8%増となり、ゴム製品は約2.5倍と大きく伸びた。

■日本の対ベルギー投資は製造業中心

日本銀行の「国際収支統計 (業種別・地域別直接投資)」によると、2014年の日本の対ベルギー直接投資額は656億円となった。製造業をみると、ガラス・土石で202億円、電気機械器具で13億円の引き揚げがみられた。ゴム・皮革が577億円となったが、一般機械器具、化学・医薬分野でそれぞれ126億円、61億円となり、製造業全体の投資は661億円にとどまった。

他方、非製造業は、5億円の引き揚げ超過となった。そのうち、卸売・小売業は54億円の実績となったが、2014年11月にはファーストリテイリングが初のベルギー出店計画を発表している。